



キャンパス再編整備プロジェクト説明会

施設企画課

名古屋市立大学
NAGOYA CITY UNIVERSITY

- キャンパス再編整備プロジェクト
- 工事による影響
- 八高古墳の発掘調査

キャンパス再編整備プロジェクト



名古屋市立大学に期待されている役割

学生・教職員の
教育研究活動の場

多様な利用者が
活動・交流する地域に
開かれた公共の場

災害時における
防災拠点としての機能

キャンパス再編整備プロジェクト



キャンパスの再編整備により目指すところ

- 学生の多様な学習や活動の支援
- 学問・分野を超えた革新的な研究の推進
- 地域連携・交流の促進

大学としての魅力を高めるとともに、
人でのぎわう、活気あるキャンパスに

第1期整備の概要

滝子キャンパス

経済学部及びデータサイエンス学部
の研究施設、教室、図書館、食堂等
を整備

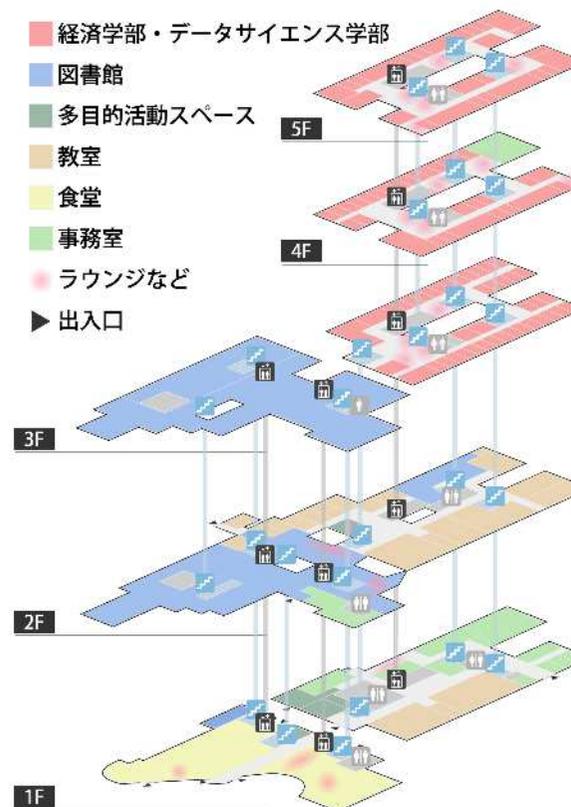


田辺通キャンパス

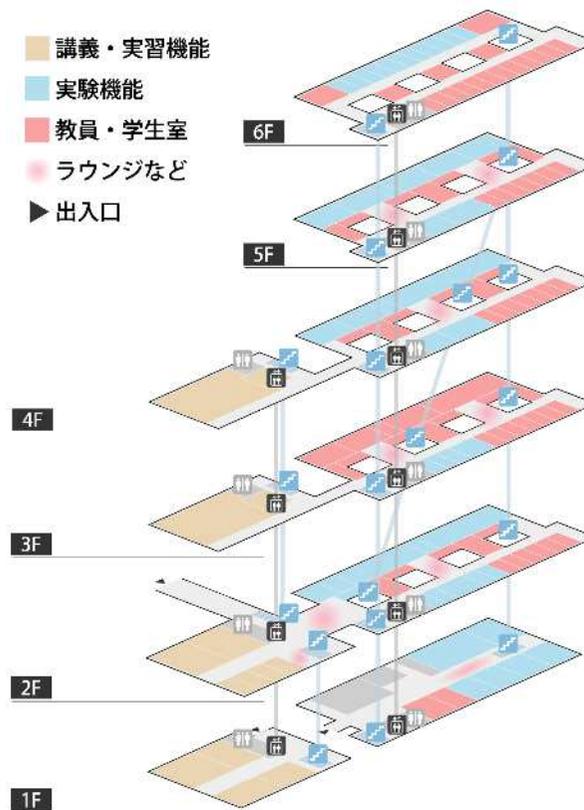
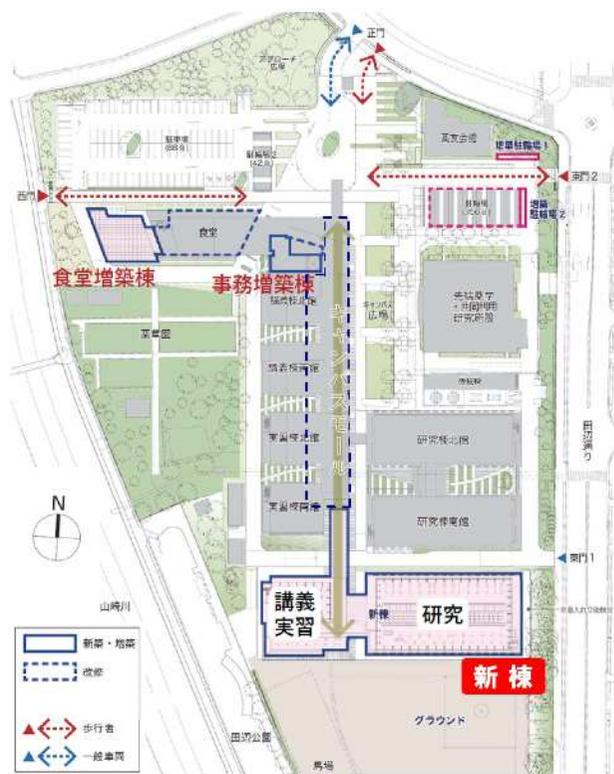
総合生命理学部が田辺通キャンパス
に移転し、研究の拠点として新たな
棟、食堂等を整備



滝子キャンパス整備の概要



田辺通キャンパス整備の概要



第1期整備のスケジュール



令和6年度

令和7年度

令和8年度

令和9年度

実施設計

工 事

供用開始

第1期整備の概要



特設サイト

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/campus-lp/>



最新情報

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/campus/>



見出し



- キャンパス再編整備プロジェクト
- 工事による影響
- 八高古墳の発掘調査

工事による影響

- 工事エリア内の施設が使えなくなる
- 構内の移動に制限がかかる
- 工事車両の出入り
- 工事で発生する騒音
- 既存樹木を伐採する

例えば…

ハード面：防音仮囲いなど

ソフト面：工事エリアから遠い教室への変更
試験期間は騒音作業なしなど

対策を検討

利活用を検討

工事による影響



滝子キャンパスの想定工事エリア

想定工事エリア
 (その他 既存キャンパスモールの天井改修や
 既存カフェテリア・売店の改修を含みます)



田辺通キャンパスの想定工事エリア

滝子キャンパスにおける既存樹木の利活用



滝子キャンパスにおける既存樹木の利活用

- できる限り既存樹木を保存する計画としている
- 新たに建物を建てる以上、建設予定地の樹木伐採は避けられない

伐採する樹木の一部を新棟の内装等に活用し、
この地の歴史を継承していくと共に、貴重な資源の有効活用を図る

見出し



- キャンパス再編整備プロジェクト
- 工事による影響
- 八高古墳の発掘調査



八高古墳の発掘調査

- 滝子キャンパスには2つの古墳がある
- 八高古墳は工事エリアと接近している
- 今年度より発掘調査、記録保存を行う

発掘調査の概要

場所	名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
期間	令和6年6月から令和7年3月まで
目的	八高古墳の記録保存
調査会社	株式会社イビソク名古屋支店



八高古墳の発掘調査



調査の方法

表土剥ぎ

検出



重機で表土を掘削



人力で遺構を検出



検出された遺物

八高古墳の発掘調査



周溝の縁に敷かれた礫群（葺石）



出土した埴輪

最後に

在学生の皆さまには大変ご不便ご迷惑をおかけすることになり、申し訳
ございません。

工事に際しましては、在学生の皆さまの負担が少なくなるよう、大学を
挙げて、できる限りの対策とサポートをしていきたいと考えております。

キャンパス整備に向けて、今後も検討・推進してまいりますので、ご理
解ご協力のほどよろしくお願いいたします。